

2022年3月期 第2四半期 決算概要

2021年11月11日



PUNCH INDUSTRY

パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2022年3月期 2Q決算概要

2022年3月期 第2四半期 決算ハイライト

全地域が増収となり、上場来最高の利益を計上

売上	連結	連結売上高は、前年同期比126.7%、41億円増の195億円。
	日本	前年同期比117.9%の68億円。 自動車関連が軟調も、電子部品・半導体関連が好調を維持。
	中国	前年同期比130.1%の104億円。 全業種で好調を維持し、特に電子部品・半導体の受注増が貢献。
	東南アジア	前年同期比126.5%の8億円。 シンガポール、マレーシア、フィリピンが特に堅調。
	欧米他	前年同期比154.1%の13億円。 医療関連に加えて電子部品・半導体関連が好調。
利益		営業利益は前年同期比564.7%の1,768百万円 経常利益は前年同期比465.7%の1,736百万円 四半期純利益は1,258百万円（前年同期は四半期純損失544百万円）
ネット資金		運転資金削減等により、期首から841百万円増加。

■ 2022年3月期 2Qの決算ハイライト

- 前期はCOVID-19拡大の影響を受けており、現在は復調傾向にあることから全地域が増収となり、大幅な増益を確保
- 特に中国では大幅な増収を達成し、業績の回復に大きな貢献
- 利益面は、上場来最高の利益を計上
売上増と連動した販売費及び一般管理費の上昇もあったが、増収による効果が大きく、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、いずれも大幅な増益
- ネット資金についても、8億41百万円の増加

損益計算書サマリー(2Q比較)

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前年同期差	前年同期比
売上高	15,412	19,523	4,111	126.7%
営業利益	2.0% 313	9.1% 1,768	1,455	564.7%
経常利益	2.4% 372	8.9% 1,736	1,363	465.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	- ▲ 544	6.4% 1,258	1,803	-

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

2

■ 損益計算書サマリー

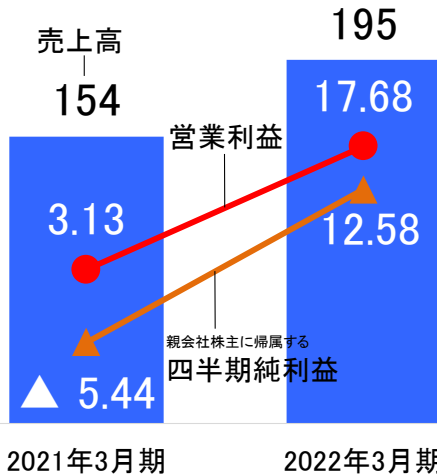
■ 売上高は195億23百万円で、前年同期比126.7%、41億11百万円の増収

■ 営業利益は17億68百万円、経常利益は17億36百万円、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は12億58百万円

■ 現在の中期経営計画の目標の一つである業績回復に向けて、順調に進捗中

売上高と利益(2Q比較)

(単位: 億円)



【前年同期比較】

売上高	41 億 11 百万円	増収
営業利益	14 億 55 百万円	増益
純利益	18 億 3 百万円	増益

※親会社株主に帰属する四半期純利益

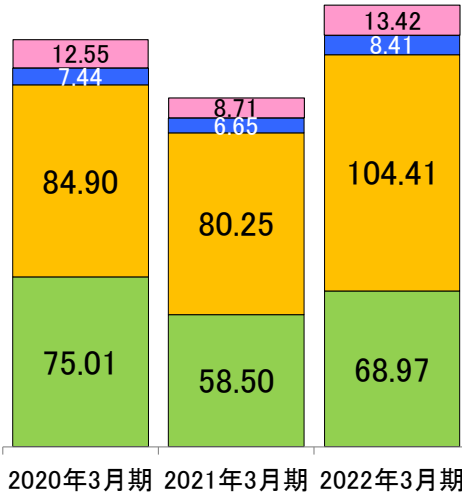
■ 2021年3月期と2022年3月期の売上・利益比較(2Q)

- 前年同期実績はCOVID-19拡大の影響を受けていたが、復調しつつあり、大幅な増収増益

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高(2Q比較)

(単位: 億円)



全ての地域において増収となるも、日本はコロナ禍前の回復には至らず

欧米他 医療関連の欧米向け輸出が堅調を維持

東南アジア 増収要素はシンガポール、マレーシア、フィリピンが牽引

中国 電子部品・半導体関連が好調、為替の上振れあるが、好調維持

日本 電子部品・半導体関連が好調、自動車関連が停滞気味

2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期

PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

4

■ 地域別の売上高

■ 全地域において増収を達成するなか、中国が大きく牽引

■ コロナ禍の影響を受ける前である、2020年3月期と比較しても、中国の好調さが際立っている

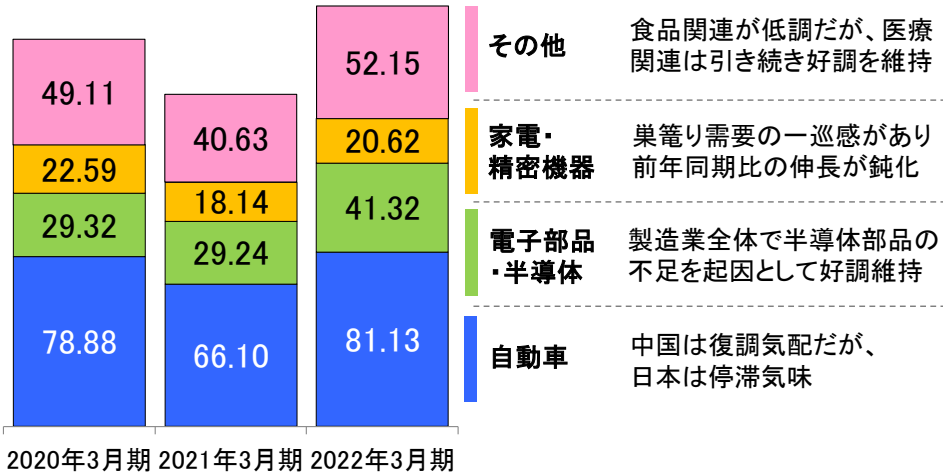
■ 一方、日本は復調気配ではあるものの、コロナ禍前までは回復しきれていない状況

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

業種別売上高(2Q比較)

(単位: 億円)

電子部品・半導体関連が好調を維持
引き続き、家電・精密機器はコロナ禍前の
売上には未達



その他 食品関連が低調だが、医療
関連は引き続き好調を維持

**家電・
精密機器** 巣籠り需要の一巡感があり
前年同期比の伸長が鈍化

**電子部品
・半導体** 製造業全体で半導体部品の
不足を起因として好調維持

自動車 中国は復調気配だが、
日本は停滞気味

2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期

PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

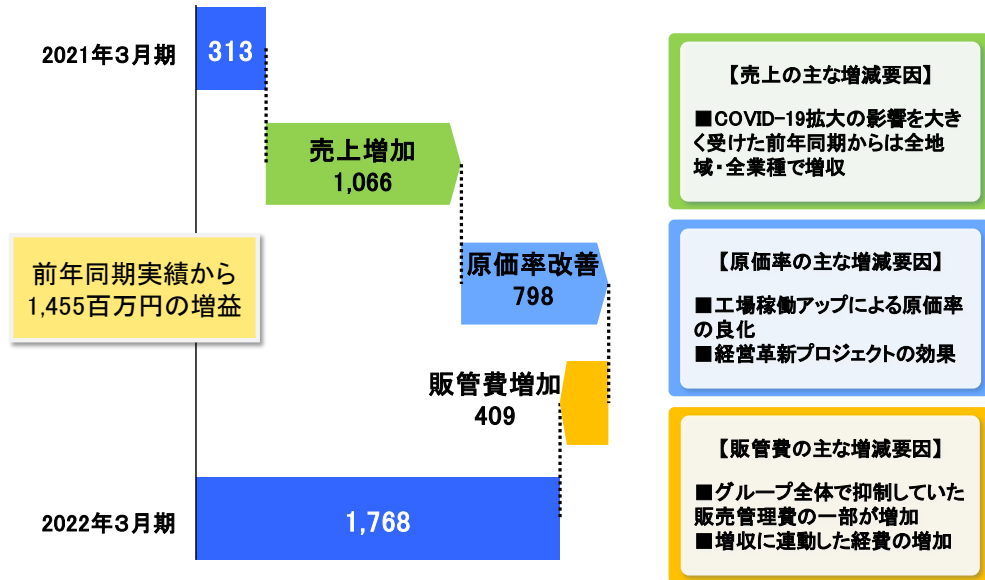
5

■ 業種別の売上高

- 日本では電子部品・半導体関連の好調さはあるものの、半導体不足を起因とする自動車関連の受注が停滞気味
- 中国では自動車関連、電子部品・半導体関連は好調に推移し、前年同期実績よりも全業種において増収
- コロナ禍の影響を受ける前である、2020年3月期と比較しても、特に電子部品・半導体関連の好調が全地域で好影響

営業利益増減(2Q比較)

(単位:百万円)



■ 営業利益の増減分析

- 前年同期の営業利益実績3億13百万円に対して、売上増による利益増加が10億66百万円、工場稼働アップによる原価率の良化が7億98百万円
- 一方で、グループ全体で抑制していた販管費の一部が増加したことや、増収に連動した経費の増加で4億9百万円
- 結果、2022年3月期 2Q実績は、営業利益17億68百万円となり、前年同期に対して、14億55百万円の増益

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2021年3月期末	2022年3月期 第2四半期末	比較増減
総資産	24,702	26,685	1,983
総負債	12,266	11,963	▲302
うち有利子負債	4,997	4,086	▲911
純資産	12,436	14,721	2,285
ネット資金	▲905	▲64	841
自己資本比率	50.2%	55.0%	4.8pt

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	213	613	399
減価償却費(無形固定資産含む)	566	470	▲96

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

7

■ 貸借対照表サマリー

■ 総資産は、19億83百万円の増加

■ 総負債は、3億2百万円の減少

■ 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、前期末と比較して22億85百万円の増加

■ 上記の結果から自己資本比率は前期末から4.8ポイント上昇し、55.0%

■ 設備投資額は、前年同期から3億99百万円増加の6億13百万円
前期に徹底した抑制したこともあり、徐々に巡航速度に戻していく計画

2022年3月期 通期業績予想

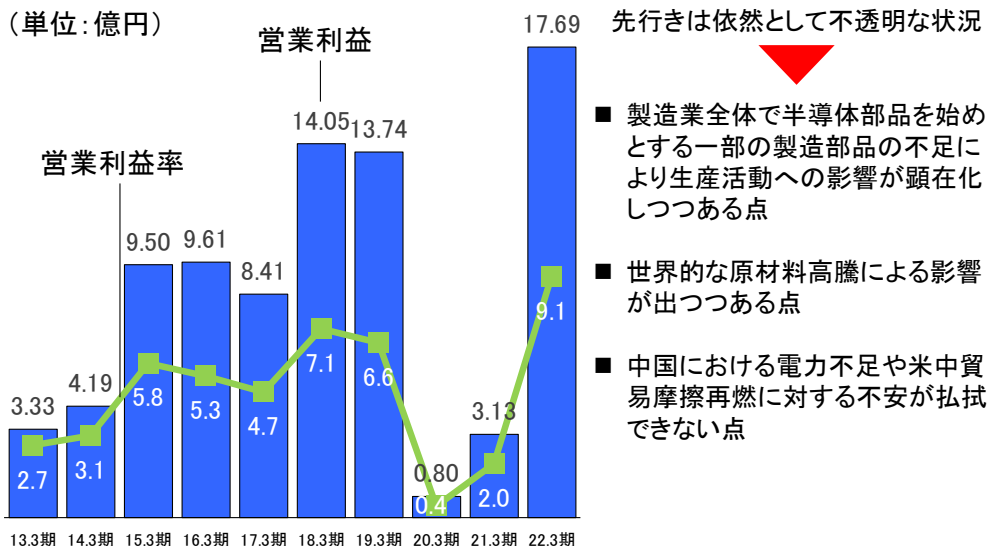
 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2022年3月期の通期業績予想

2022年3月期 第2四半期累計期間は上場来最高益を計上

上場来の第2四半期累計期間の営業利益推移

(単位: 億円)



先行きは依然として不透明な状況

- 製造業全体で半導体部品を始めとする一部の製造部品の不足により生産活動への影響が顕在化しつつある点
- 世界的な原材料高騰による影響が出つつある点
- 中国における電力不足や米中貿易摩擦再燃に対する不安が払拭できない点

PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

9

- グラフの一番右側が今期の数値であり、営業利益17億69百万円で営業利益率は9.1%となり、上場来最高の数値を計上することができ、足下も順調に推移
- しかし、製造業全体で半導体部品を始めとする一部の製造部品の不足により生産活動への影響が顕在化してきていること、世界的な原材料高騰による影響、また中国における電力不足や米中貿易摩擦再燃に対する不安が払拭できないことなど、先行きは依然として不透明な状況

2022年3月期 通期の業績予想を前回予想から据え置き

(単位:百万円)

	2021年3月期 (実績)		2022年3月期 連結累計期間				
			期初予想 (2021/5/13公表)		前回予想 (2021/8/6公表)	前期差 (前期比)	
売上高	32,462		36,500	37,400	4,938 (115.2%)		
営業利益	5.0%	1,613	6.0%	2,200	6.8%	2,550	937 (158.1%)
経常利益	5.2%	1,676	5.9%	2,150	6.6%	2,470	794 (147.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.5%	477	4.0%	1,450	3.9%	1,450	973 (303.5%)
自己資本利益率 (ROE)	4.0%		11.1%		11.1%		7.1pt

2022年3月期
配当予想

8円 = 中間 4円 + 期末 4円(予定)

- 通期の業績予想及び配当予想は、8月6日に上方修正した内容を据え置き
- 今後も緩やかに金型用部品への需要が回復していくと仮定しているものの、直近の動向においてリスクが見通しにくい状況が継続している点が主な理由
- 売上高は49億円増収の374億円、営業利益は9億37百万円増益の25億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は9億73百万円増益の14億50百万円を見込んでおり、ROEも再び2桁まで回復する見込み

2022年3月期 上期・通期の比較

通期予想の据え置きは、リスクの顕在化ではなく、不透明な先行きを勘案

(単位:百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期差	
	上期実績	通期実績	上期実績	通期予想	上期	通期
売上高	15,412	32,462	19,523	37,400	4,111	4,938
営業利益	313	1,613	1,768	2,550	1,455	937
経常利益	372	1,676	1,736	2,470	1,363	794
親会社株主に帰属する 四半期純利益・ 当期純利益	▲ 544	477	1,258	1,450	1,803	973

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

11

- 前期と今期を上期・通期別に比較
- 現在の中期経営計画「バリュークリエーション2020Plus」は今期が最終年度であり、今期の業績は次期中期経営計画へ向けた発射台
- 次期中期経営計画の骨子を社内で精査中であり、業績予想も含め慎重に対応予定
- なお、次期中期経営計画の発表時期は、不測の事態がなければ今期中の3月末頃に開示予定

◇各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

◆決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

◆決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsume.html>

◆IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2021/>

参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,006名(グループ連結、2021年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

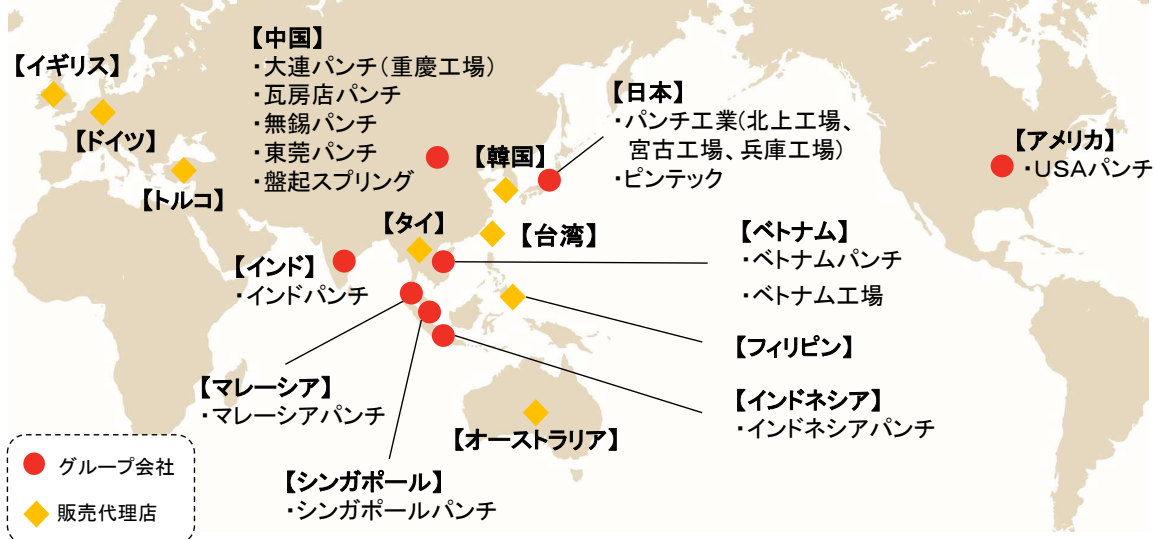
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

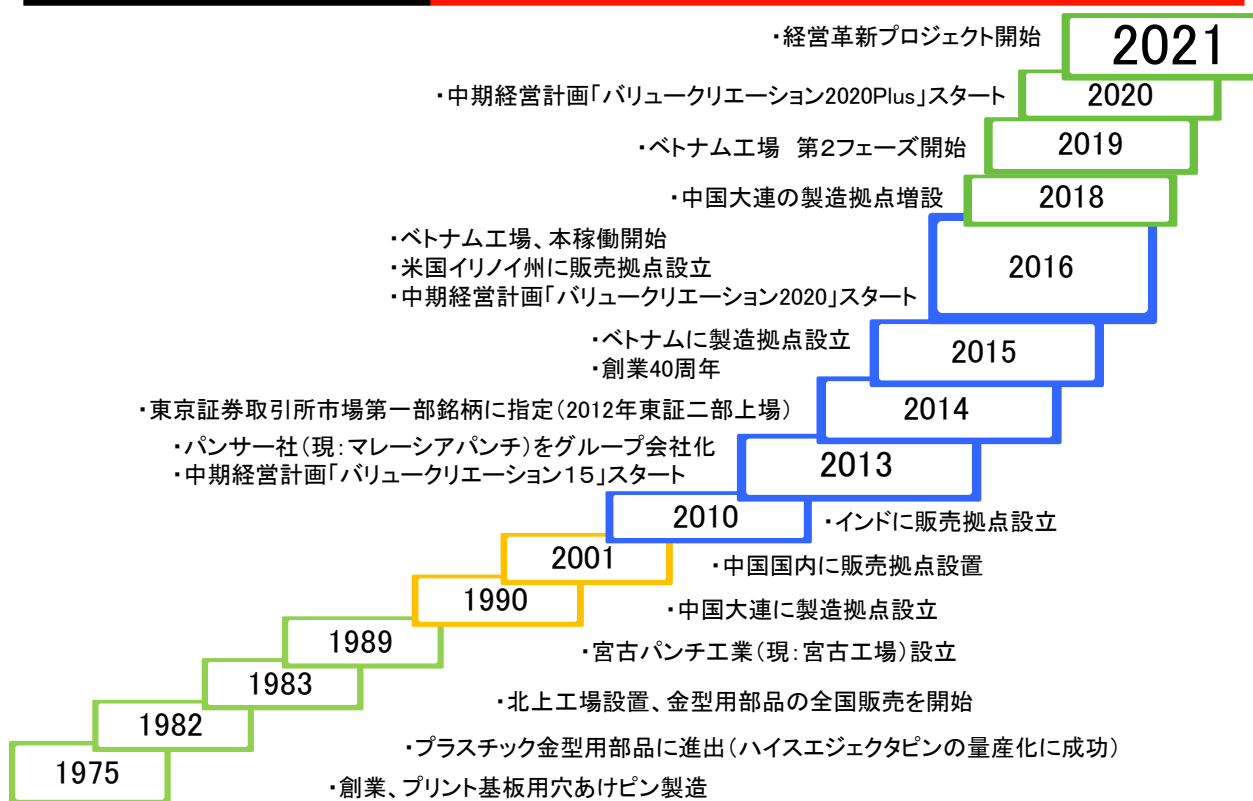
日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

日本	海外
11	40
カ所	カ所

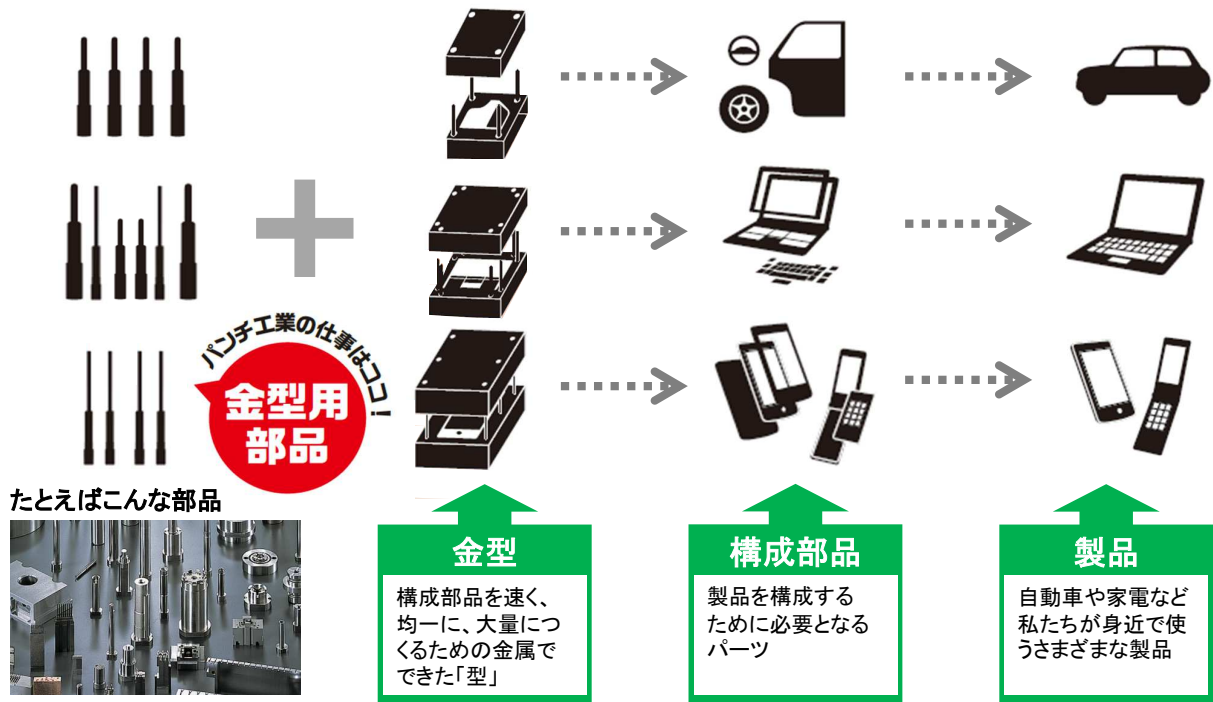


沿革

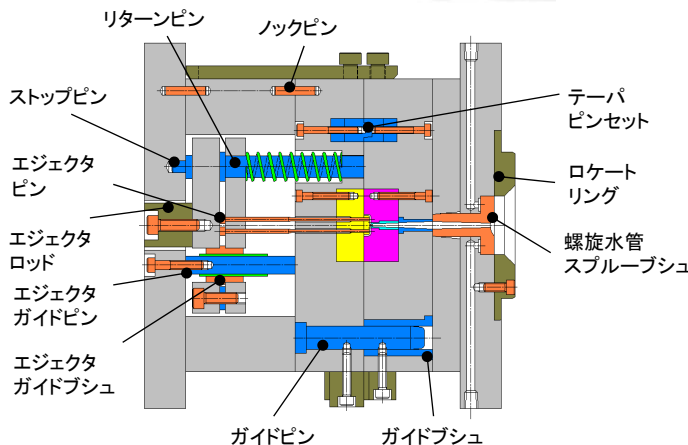
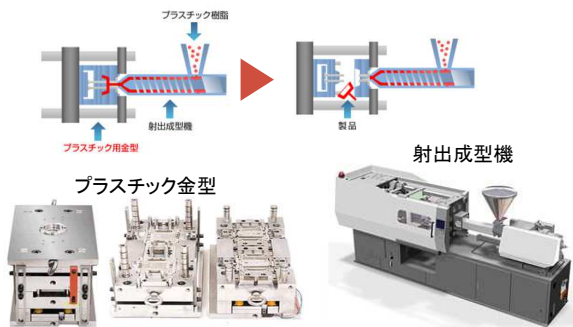


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



プラスチック金型と金型用部品



●プラスチック金型用部品について

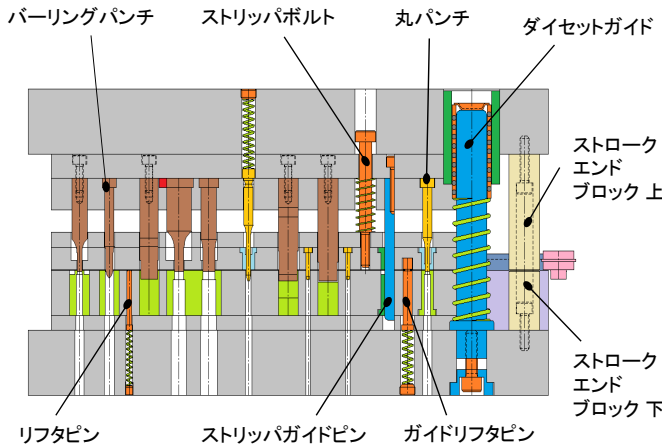
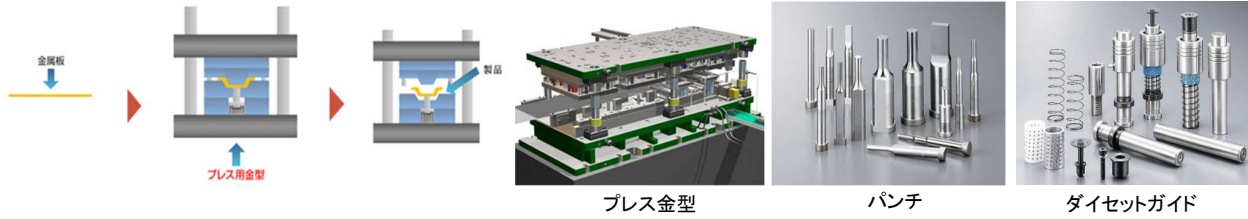
プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン... 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ... 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

プレス金型と金型用部品



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の中に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ**..... パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド**... 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供

カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

タイムリーで的確なソリューション

特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応

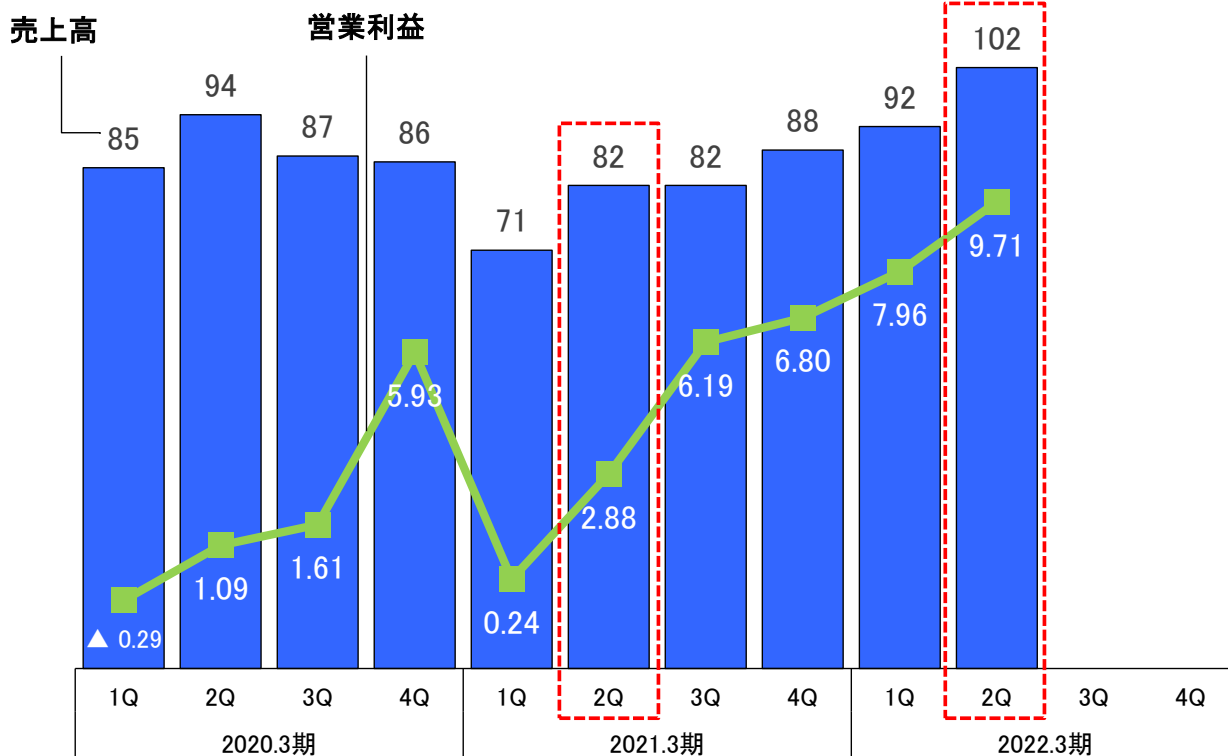
一気通貫の生産体制
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

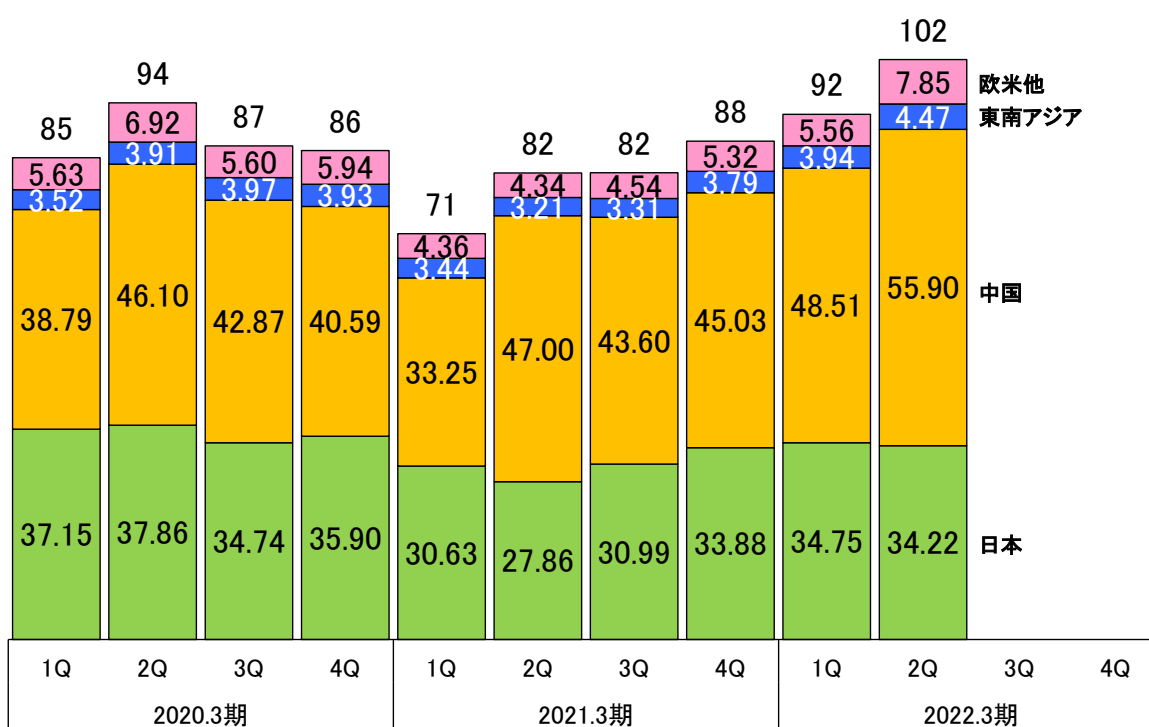
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



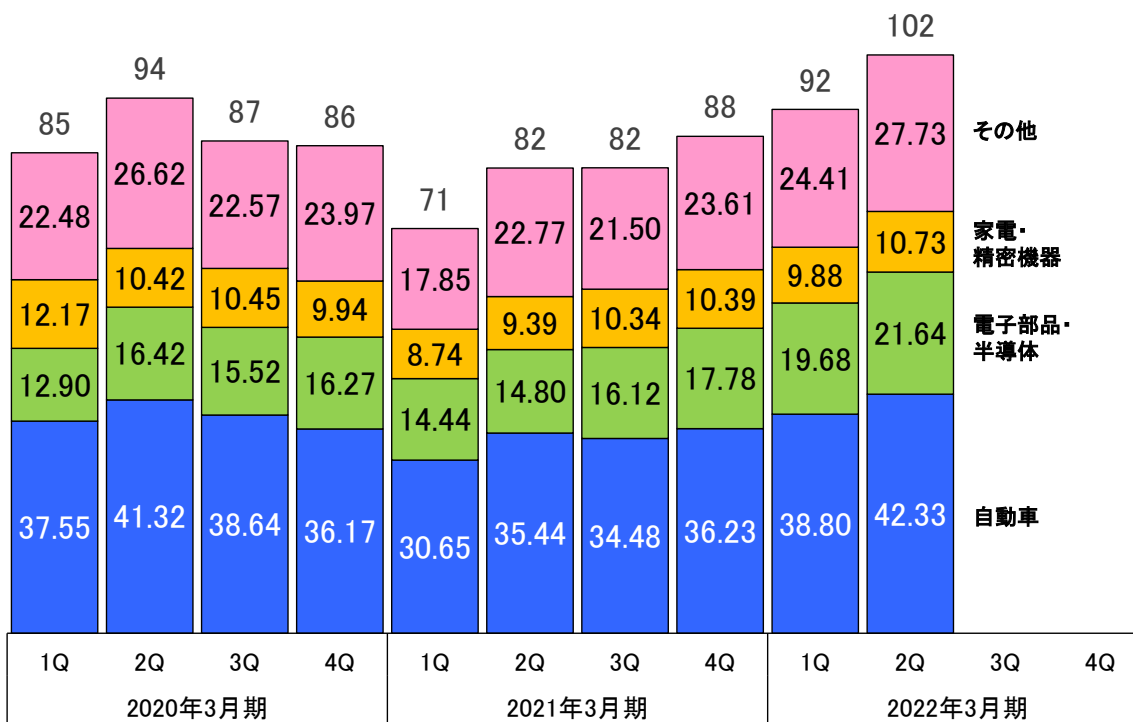
地域別売上高

(単位: 億円)



業種別売上高

(単位:億円)



CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるためにCSR経営を実行しています。

企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

ステークホルダーとのコミュニケーション



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営管理部 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail: info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。